

★(様式A) 通常事業評価シート【R4年度実施事業(一部) / 学校教育課による自己評価】

(単位:千円)

No.	事業名	総合計画での位置付け (個別目標)	事業の目的 (誰をどのようにするか)	事業の手段 (今年度の主な活動結果)	事業の目的達成に 近づいたか	今後の 方向性	事業費 (決算見込額)	人件費 (参考値)	コスト 合計	事業の課題	今後の改善ポイント	備考
1	学校体育振興事業	子どもの健康と安全が保たれている	子どもの体力向上及び健康増進を図るため、学校体育を振興する。	・岸和田市体力向上支援委員会の開催 ・スキップロープチャレンジの実施 ・体育実技研修会の実施	3: おおむね近づいた	継続	16,128,989	6,732	16,135,721	スキップロープチャレンジの参加校をさらに増やす必要あり。	岸和田市体力向上支援委員会で体力向上について協議し体育実技研修などを通して体育の授業改善に取り組む。	
2	小中一貫教育推進事業	子どもの個性や能力が豊かに育まれている	小中一貫教育推進会議の円滑な運営を行い、市内全校区での小中一貫教育の実施をめざす。	・小中一貫教育モデル校区の設置 ・「新たな科」の検討開始	4: 大いに近づいた	継続	50,820	4,326	55,146	・全校区での円滑な実施	特になし	
3	学力向上支援事業	子どもの個性や能力が豊かに育まれている	児童生徒の学力向上を図るため、各学校の学力向上の取組について支援や助言を行うアドバイザーを派遣する。	市内小中学校へ授業改善アドバイザー(退職教員・大学教授等)を派遣し、授業改善のための指導助言・校内研究のアドバイスをいただいた。	2: 一定近づいた	継続	40,043,797	10,398	40,054,195	授業は改善されてきつつあるが、まだ学力テスト等の数値には反映されていない。引き続き継続する必要がある。	継続的にアドバイザーを配置する。また、各校の児童生徒の課題に正対したアドバイスをお願いしていく。	
4	副読本指導資料作成等事業	子どもの個性や能力が豊かに育まれている	各校園における教育内容を充実させるため、副読本及び指導資料、作品集等を作成・配布する。	4つの単元部会に分かれて、3回程度部会を開催。主に3年生の単元の編集準備を進めた。	3: おおむね近づいた	継続	1,892,248	1,490	1,893,738	単元リーダーは現在の5名に加えて、令和5年度中に新規を依頼していく必要あり。相談役の管理職も同様、現在は3名。	他教科の学習者用のデジタル教科書の効果検証を注視し、令和10年度の改訂の際は検討必要。	
5	ICT教育推進事業	子どもの個性や能力が豊かに育まれている	ICT機器を活用した授業の円滑化及び学校の教育情報化を推進するため、学校にICT支援員を配置するとともに、授業支援ソフトを導入する。	・授業支援ソフトを導入し、各学校で学級の友達と意見を交換する場面や自分の考えをまとめ、発表する場面でICTを活用した授業改善が行われる。	2: 一定近づいた	継続	20,471,484	3,997	20,475,481	・学習者用端末の活用について、学校間で差が見られる。	・授業支援ソフト、学習支援ソフトの活用研修の充実	
6	外国語活動事業	子どもの個性や能力が豊かに育まれている	児童の学習効果の向上と外国語活動における教員の指導力の向上を図るため、外国語活動補助員を各小学校に巡回派遣する。	・専科教員配置のない小学校10校に外国語指導補助員(3名)を派遣。3~6年生の外国語の授業において、担当教員をサポート。 ・「効果的に機能している」…100%	3: おおむね近づいた	継続	2,549,787	1,848	2,551,635	今後の専科教員配置の動向にもよるが、1校当たりの派遣回数(時数)の増加、補助員の資質向上が課題。	補助員の人数増や連携する教員、補助員の資質向上に向けたと仕組み必要。	
7	外国語教育事業(他課からの予算再配当事務)	子どもの個性や能力が豊かに育まれている	英語科における生徒のコミュニケーション能力の向上と、児童の外国語活動指導の充実を図るため、中学校に外国語指導助手を派遣する。	・年間通じて、小中学校にALT(7名)を派遣し、児童生徒にネイティブの英語に触れる機会を設定。 ・「効果的に機能している」…92%	3: おおむね近づいた	継続	15,276,838	1,876	15,278,714	1校当たりの派遣回数(時数)の増加、ALTとの効果的な授業を行うための教員の資質向上。	中学校区にALT1名配置を目標年、派遣回数(時数)を増加する。	
8	教育センター管理事業	子どもの個性や能力が豊かに育まれている	教育センターの施設機能を保持するため、施設を適切に管理する。	・定期的に保守点検を実施。 ・公共建築マネジメント課と連携し、計画的な修繕について検討。	2: 一定近づいた		4,218,244	3,085	4,221,329	施設の老朽化に伴い、今後も修繕が必要になる。	定期的な点検を継続して行い、早期に修繕していくことが必要。	
9	教育センター運営事業	子どもの個性や能力が豊かに育まれている	教職員の専門的知識・技能・指導力の向上を図るとともに、教育相談活動を一層推進するため、教育センターを運営する。	・教育相談室カウンセラー(5名)、精神科医師(1名)を配置。児童生徒・保護者・教職員対象のカウンセリングを実施。利用人数…のべ1,226人。 ・適応指導教室「エスバル」利用人数…のべ240人	2: 一定近づいた	継続	281,962	4,366	286,328	市内の不登校児童生徒数に対して、教育相談室・適応指導教室「エスバル」を活用している割合が低い。	令和5年度より「子どもサポートルーム エスバル」として、より活用しやすい設置要綱を変更し、運営する。	
10	教職員研修・育成事業	子どもの個性や能力が豊かに育まれている	教職員の資質向上を図るため、研修を実施するとともに、教職員の自主的な研究・研修を支援する。	今年度は、必要に応じて集合型で開催を実施することができ、参加者同士での討議や意見交換も積極的に行うことができた。集合型は、研修後にも、継続した情報交換の機会も生まれやすい。一方で、リアルタイム開催も効果的だった。	3: おおむね近づいた	継続	5,402,627	24,125	5,426,752	受講者が、研修会を通じた学びを自分ごとと感じることができたか。この視点を大切に研修会の内容を組み立てていく必要がある。	受講者が、研修で得た学びを校内へ持ち帰り、実践、その後、成果と課題を再度共有。こういった研修ユニット型の研修も効果的に導入する必要あり。	
11	国際交流等支援事業(他課への一部予算再配当事務)	子どもの個性や能力が豊かに育まれている	市内小・中・高生が異なる習慣や文化などについて理解し、豊かな人間性を育むため、様々な交流や体験ができる機会をつくる。	市立小・中・高生が異なる習慣や文化などについて理解し、豊かな人間性を育むため、様々な交流や体験ができる機会をつくる。	2: 一定近づいた	継続	50,820	2,893	53,713	小学校英語専科教員が交流の窓口となり、市教委や日本台湾文化芸術交流会と連絡・調整を行いながら交流を進めたが、窓口を置きにくい学校にとっては、交流しにくい面もあり。	「日台まなび国際交流」の実施について、令和5年度に市内小中学校へ発出し、募集するか要検討。日台交流会としては、交流に関しては積極的な姿勢。	
12	読書活動事業(他課への一部予算再配当事務)	子どもの個性や能力が豊かに育まれている	児童・生徒の読書活動を推進するため、小・中学校図書館活動を充実させる。	・学校司書を配置し、読書活動を推進した。 ・各学校の読書推進の好事例を共有し、各学校で実践を行う支援をした。	3: おおむね近づいた	継続	30,013	773	30,786	1人で2校を兼務しているため、クラス数の多い学校では、すべてのクラスにいけなことが課題である。	1人1校配置の増加や、好事例の共有を引き続き行い、学校と学校司書が連携できるように支援や助言しさらなる読書推進を図っていく。	
13	地域教育支援活動事業	子どもの個性や能力が豊かに育まれている	地域全体で子どもを育てる体制を整えるため、学校の教育体制づくりを推進、支援する。	・各各校園で地域と学校の協働もと、特色のあるボランティア活動をおこなった。 ・ボランティア不足の課題に対して、様々な場で発信を行った。	4: 大いに近づいた	継続	4,218,000	3,867	4,221,867	ボランティアの高齢化に伴うボランティア不足が課題である。	新しいボランティアの発掘を様々な場面でやっていく。	

★（様式A）通常事業評価シート【R4年度実施事業（一部）／学校教育部学校教育課による自己評価】

（単位：千円）

No.	事業名	総合計画での位置付け （個別目標）	事業の目的 （誰をどのようにするか）	事業の手段 （今年度の主な活動結果）	事業の目的達成に 近づいたか	今後の 方向性	事業費 （決算見込額）	人件費 （参考値）	コスト 合計	事業の課題	今後の改善ポイント	備考
14	児童生徒育成支援事業	子どもの個性や能力が豊かに育まれている	園児および児童・生徒の健全な育成を図るため、学校教育に関する各種支援を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 各校園における生徒指導に伴う活動や、いじめ防止の支援を行った。 各校園の特色ある教育活動を推進した。 各校園及び教育相談室において教育相談体制が充実された。 	2：一定近づいた	継続	33,113,149	24,139	33,137,288	・教育相談体制の充実	特になし	
15	教育委員会表彰事業	みんなが主役の協働・連携したまちづくりが行われている	多年の努力に報い、他の規範となってもらうようにするため、本市学校教育の振興に功労のあった者を表彰する。	<ul style="list-style-type: none"> 文化の日祝典（11/3）では、団体6、個人21名の表彰 追加表彰式（2/28）では、団体4、個人8名の表彰。 	3：おおむね近づいた	継続	-	358	358	特になし	特になし	
16	学校教育課管理事務事業	持続可能で信頼される行政になっている	課内・部内の円滑な運営を遂行するため、庶務全般を効率的に行う。	<ul style="list-style-type: none"> 密な情報共有 等 	4：大いに近づいた	継続	-	14,468	14,468	多岐にわたる業務の円滑かつ遺漏のない遂行	特になし	